こころ庵運営推進会議　ご報告（運営推進会議代替）

２０２１．２．１０

＊コロナウイルス感染症対策のため、今回の運営推進会議は開催せず、書面にてのご報告とさせていただきます。

1．利用状況

Ⅰ．（報告事項）

Ⅰ．サービス利用状況　　2月　10日現在　登録者数 ２５名（男性５名 女性20名）

介護度別利用状況

申請中	0名	要介護３	6名
要介護１	3名	要介護４	5名
要介護２	８名	要介護５	３名

年齢別利用状況

	男性	女性		男性	女性
６０代	0名	1名	９０代	1名	5名
７０代	0名	3名	１００代	0名	0名
８０代	4名	11名			

Ⅱ．（報告事項）

管理者より

サービス利用状況報告等　（サービス内容・ご利用者の様子）

●行事・地域との関わり・他取り組み等の報告をさせていただきます。

第一水曜日：ふれあいサロ

6月から再開となりましたが、こころ庵はまだ参加を見合わせました。

行事・地域との関わり

☆　１２／１３　あわてんぼうの獅子舞を作ろう♪

１２月も半ばとなり寒さも冬らしく厳しくなってきました。クリスマス前ですがお正月に向け獅子舞の正月飾り作りをしました。まず、出来上がり見本を見て頂いたのですが皆さま口を揃え、「鬼じゃねぇ」、「赤鬼」と獅子舞だと気付いて下さったのはお一人だけでした。そんな事で挫ける訳もなく早速、作業に取り掛かり、配られた各パーツを思うように貼ってもらいました。皆同じパーツを使っているのですが中にはとてもかわいらしい獅子舞やなぜか地獄にいるという閻魔様にしか見えない獅子舞もいてそのユニークな出来上がりに皆でわいわい盛り上がりました。お一人ずつ記念撮影をし再度、何を作ったかお聴きすると、「赤鬼じゃね」と即答されておられました。毎日コロナ関連のニュースばかりで気持ちが滅入ることもあると思いますが笑顔になれることを日々の中に見出せるようこれからも取り組んでいこうと思います。

☆　１２／２０　サンタクロースを作ろう♪

今年も残すところ１０日ばかりとなり、午前中は見ると縁起の良い初夢のぬり絵を楽しまれました。午後からは先週に引き続き、指先を使いながらユニークな発想でサンタクロースと雪だるま作りに取り組みました。まずできあがりを見て頂くと、「かわいい、うちのチコちゃんみたい」とご自宅で飼っておられるワンちゃんのようにかわいいと嬉しそうに話される方もおられました。サンタクロースのひげや真っ赤な帽子など順番にのりで貼っていくのですがその方の性格なのか話を聴かずに先先進む方や見本を見ながら慎重に貼っていく方など楽しみ方は様々でした。雪だるまの目やボタンは少し小さく目を細めながら頑張っておられました。ボンドが乾くまでの間クイズをし皆さま頭を悩ませながらも答えが出るとスッキリとした表情を見せて下さり答えにちなんだ話題で会話も盛り上がっていました。

☆　１２／２７　尾道弁で話そう♪

普段使い慣れている尾道弁ですが今日はそんな尾道弁について皆で意味や使い方を再確認してみました。スタッフが尾道弁で話し意味を問いかけると他の方々が考える間もなく次々と勢いよく答えられる方がおられ、“答えがわかっても黙っといて下さいね”とお願いしました。がしかし、待つことができず元気よく答えて下さり皆で大笑いしました。富山県の方言で、“はんごろし”という言葉があるのですがとお伝えすると、「怖いね」と話されその意味が“おはぎ”と聴くと驚きその由来を知り、「またひとつ賢うなったね」と嬉しそに話しておられました。

☆　１　／　１　初詣♪

毎年恒例となっている高須八幡さんへの初詣も今年はコロナの影響で中止となりました。しかし毎年楽しみにされていたご利用者さまからは、「初詣はいつ行くの？」と…。そんなご利用者様

の願いをかなえるべく一人のスタッフが３週間がかりでこころ神社を建設しお正月を迎えました。お昼は色とりどりに盛り付けらえた豪華なお節を前に、「おいしそ～、何から食べようかしら？」と箸を進めておられました。食事が終わりこころ神社の設営が始まるや否や…「すご～い、これ作ったの!?」とご利用者様もスタッフも驚くほどの完成度の高さで、参拝するのを楽しみに設営が終わるのを待ちました。
お一人ずつこころ神社の境内へ足を運んで頂き本物の神社の様に賽銭箱に賽銭を入れ、鈴を鳴らし、二拝、二拍手し願い事を神様に祈りました。最後に一礼し、終わりと思いきやおみくじが準備されてりおみくじを引いて参拝終了となりました。席に戻りおみくじを開いていると本田先生が新年のご挨拶に来て下さり新年の挨拶をし、「先生、美味しいお節、ありがとうございました」とお礼を伝えておられました。

☆　１　／　２　書き初め♪
こころ神社での初詣を終え今日は書初めをしました。机の上が片付けられ準備が始まると、「何するんじゃろ？」とテーブルを囲うようにご利用者さまが集まられ早速、書初めが始まりました。まず初めに“一番に書きたい方おられますか？”とお聴きしましたが誰も手を挙げて下さらず、お一人の方に筆をお渡しすると半紙いっぱいに“正月”と書いて下さりその堂々とした字に、「めでたい気分になるねぇ」と会話が弾んでいました。ワイワイとした雰囲気で皆さま自由に筆に思いを込めておられました。

☆　１　／　３　福笑い♪
お正月三が日も今日で最後となりました。今日はお正月の遊びとしては定番の福笑いでこころ庵に笑いを呼び込みました。順番に目やまゆげを置いていって頂いたのですがご自分の番が待ちきれずつい手が出てしまったりしながらもおもしろい顔が出来上がり皆で笑い合いました。
今年もコロナの影響で窮屈な日々に気が滅入る事もあると思いますがご利用者様の笑顔を大切に日々の関わりを大切にしていこうと思っております。本年もどうぞよろしくお願い致します。

☆　１　／１０　トランプしようよ♪
お正月もあっという間に終わりいつもの日曜日に戻りました。今日は漢字クイズで頭の体操をしようと考えていたのですが食事が終わるなり、「トランプしようよ、ババぬき」とご利用者様より提案がありトランプをする事にしました。前回足りないカードあったという事でまずは遊びながら足りないカードをみつけようと七ならべから始めました。たくさんカードを持っていてもなかなか出すタイミングが回ってこず難しい顔でご自分の番を待たれたり、順番ではないのにカードを出そうとしたりとワイワイ盛り上がりました。終わってみると全カードが揃っており、「おかしいなぁ、こないだした時には足りんかったんよ本当に」と言うスタッフの言葉に皆で大笑いでした。続けてご希望通りのババぬきをしババが一周回って元の持ち主に戻ってきたり、カードを取る際、お隣の方のカードを見てから取るのに揃わない数字を引いてしまう方がおられたり…笑いの絶えない楽しい午後の時間となりました。

☆　１　／１７　今年の干支“牛”作り＆お楽しみ会♪
1月に入り寒さが一段と厳しさを増す中、こころ庵では皆さまお変わりなくお元気に過ごされています。ご利用者様からは、「とんどは行かないの？」と例年であれば地域のとんど行事に参加していたので今年は参加できず残念がっておられました。
今日は指先を使いながらユニークな発想で今年の干支“牛”作りをしました。まずは新聞紙や半紙を丸め体や顔を形作るのですがその時点で既に形やサイズに個性が出ていました。筆に墨汁を浸み込ませ体に黒い点や目・鼻を描き込み尻尾と角を取り付けあっという間に世界に1つだけの“牛”ができあがりました。皆さまご自分が作ったものが一番かわいく、「見てみて、うちのチコちゃんにそっくりでかわいい❤」と愛犬にそっくりだと喜ばれる方もおられました。

☆　１　／２４　思い出話、思い出の曲を教えて下さい
こころ庵では、「１月は往ぬるよね？早いわけよ」と会話を弾ませながら残りわずかとなった１月を惜しむ声が聴かれます。
今日は思い出話で若かりし頃を思い出して頂こうと皆様にいろいろな質問をしながら会話を楽しみました。年齢の話では97歳だと言われる方の若々しいお姿に、「えっ!?すごいっ」と歓声が上がっていました。

☆　１　／３１　節分前…春が近づく喜びを食で味わいましょう♪
コロナの為に行事食をご利用者自身も参加しながら作って味わう楽しみを体験して頂くことができないこの頃…喜んで召し上がって頂けるリクエスト上位を占める一品はやはり“ちらし寿し”です。豆腐のすまし汁に花麩を浮かべて…。ブロッコリーとカリフラワーにハムと加えたごま味のサラダで彩りをより鮮やかに感じて頂けるように添えてみました。大好きなメニューを召し上がる皆様のお顔は福の神のような和やかに晴れやかな笑顔でした。“コロナの邪気を追い払い皆様の生活が安心な毎日となりますように”と祈りを込めたお食事を皆様期待通り完食して下さいました。

☆　２　／　７　寒い冬はシチューで温まろう＆遅れてやって来た節分
２月はバレンタインデーがあるので人参をハート型にくり抜いてトッピングしてみました。「おいしいよ」、「変わった味じゃな」と色々な感想を聴かせて下さいました。午後からは先週出来

なかった豆まきをしました。鬼に扮して下さったのは男性ご利用者様で、「鬼さんこちら、手の鳴る方へ…」と鬼が自ら歌い場を盛り上げて下さいました。半紙を小さく丸めて作った豆の出来映えがよく、「これは豆？本物なら食べようかと思った」と笑われていました。

2．看取りケア

日ごとに増してゆく寒さが冬の深まりを感じさせる頃、1年を締めくくるように97歳、男性ご利用者様を看取らせて頂きました。本田Ｄｒ指示のもと、毎日行っていた点滴…精一杯に拍動しているご利用者様の心臓ポンプ作用に負担となるのか…あるいは血流をサポートし心負担を担ってくれるか…その日その日の状態に合わせた滴下速度で、脈拍の触診、呼吸の観察を細やかに行いながらの実践でした。お亡くなりになられた日、痰がゴロゴロと絡む音を立てる時もありましたが痰で呼吸が苦しそうに変化されることもなく、お亡くなりになる頃には痰の絡まりはなく静かに息を引き取られました。

3．次回運営推進会議日程

＊尾道市より、運営推進会議の再開許可があり次第ご連絡、開催させていただきます。